

子どもの暮らしに 憲法を!

子どもの貧困を考えるシンポジウム

みみはらホールにて



5月22日に耳原病院地域交流ゾーンにて、「子どもの貧困を考えるシンポジウム」が開かれました。参加された友の会会員さんの感想文でお伝えします。

耳原病院フルオープン、『子どものシンポジウム』開催。時と場を得たりで参加しました。各専門5分野のパネリストの話が絡み合い、深みのある会でした。未来を担う子どもに貧困が迫り、その背後には親の貧困が根付いている今の格差社会。「貧困の恐ろしさは

孤立すること」のパネリストの言葉がズシンとささります。子どもの生活を豊かに、貧困の連鎖を断ち切るおとなになるために、子らに寄り添う学校・学童の実践に、子どもが『心の貧困』に陥らないためのネットワーク作り、病院内のたまり場の再現に、友の会の活動も益々力を発揮する時と感じました。

また、税金が在日米軍へのおもいやり予算に5年間で9400億円も使われているのはおかしい。私たちの暮らしこそ、「思いやるべき」の声をあげていくことの大切さも強く感じています。(南花田支部 渡瀬 信子)

歴史を愛でた

おかやま旅ものがたり

旅行サークル第23回バスツアー

5月22日から1泊2日で、健康友の会みはら旅行サークル主催の第23回バスツアーが催行され、32人が参加しました。

今回は、歴史を愛でる岡山よくばり旅として、岡山

県の瀬戸内と備中高梁の山中を訪れました。当日は絶好の行楽日和に、自然と心が和みます。道中、「旧閑

谷学校」では学校建築として唯一の国宝史跡を見学し、世界最古の庶民のための学校の歴史を学び、日本三名園の「後楽園」では、広大な芝を使った庭園をゆつくりと散策しました。

鷺羽吹上温泉宿には夕暮れ時に到着。早速、自慢の空中露天温泉に浸り、疲れを癒しました。お待ちかね

翌日は、鷺羽山展望台から瀬戸大橋を眺め、山城の「備中松山城」も見学。ベンガラ(弁柄)で知られる「吹屋ふるさと村」では、現地ガイドの案内で街並みを散策。帰りの車中では恒例の「ビンゴゲーム」で、数字が出るごとに歓声があがり、次回の再会を誓いお開きとなりました。

(友の会旅行サークル 事務局長 井上 善雄)

介護の現場から ⑨

介護保険事業部長 地道 亮

介護保険制度をよくするため 今度の選挙は重要です

参議院選挙の投票日が近づいています。強く訴えたいのは安倍政権では、介護を充実することは無理だということ。す。特に介護職不足は深刻で、当法人のホームヘルパーも、3年前のピーク時と比べると約30人減っています。当然サービス

不足、介護事業の規模縮小や倒産が増えていますし、そのことが介護離職にもつながっています。解決策は所得の再分配をすることです。バラまきの交付金や地域振興券ではなく、最低限の生活を保障することであり、医療・介護の施策でいうと、所得に応じた利用料金(応能負担)が必要で、今は応益負担という制度で所得に関係なく、サービス利用の割合に応じた利用料金が決まる仕組みとなっています。絶対に安倍政権では、貧困問題や介護職不足問題を解決することはできません。介護事業所に責任を持つ立場として、その事を踏まえて投票することが必要ですし、介護保険制度を変える重要な選挙と考えています。



岡山城を背景に後楽園で記念撮影

熊本大分震災支援募金

ご協力ありがとうございました

同仁会グループ職員・友の会会員さん合わせて110万円を超える震災支援募金が集まりました。民医連を通じて現地の民医連の事業所に届けられます。募金のご協力や呼びかけなど、地域の友の会各支部の皆さまに改めてお礼申し上げます。今後も震災支援・復興は続きますので、継続した支援をお願い申し上げます。



耳原があるから 西区上野芝町 正木道子(82歳)

「休日でも、耳原病院があるから安心よ」と姉や主人を励まし、お世話になって来ました。今後共宜しく願います。巡回バス新ルートがスタートして便利になりました。病院の今後の発展をお祈り申し上げます。

記事を読んで 堺区霞ヶ丘町 新谷啓介(73歳)

3・11から、丸5年。なかなか復興も進みません。原子力は、1度事故を起こせば大変な事になることを、嫌という程に身に染み込ました5年間です。また熊本も一日も早い復興を願うばかりです。日本が大変な事に...

健診を大事に 南区美木多上 山戸直子(63歳)

9月に健診予約させてもらいました。日曜日に

してもらえるのでありがたいです。皆様もお身体に気をつけてくださいませ。

私の意見 西区北条町 高橋愛梨(19歳)

私の祖父が3月に耳原総合病院で鼠径ヘルニアの手術を受けました。違和感がすっかり解消して祖父は喜んでいきます。私も耳原病院で生まれまして、これからはずっと愛される病院であり続ける事を願います。



頭の体操 大阪狭山市 長尾加代(68歳)

毎回クイズを解くのを楽しみにしています。色々なパズルを解いて応募して、コメント書きながら国語辞典を引いて、忘れていた漢字を思い出して頭の体操をしています。古い絵葉書を活用して終活です。

拝見しています 高石市羽衣 松本房子(71歳)

いつも楽しく拝見しています。たまにクイズも応募します。フルオープンまつりの構成劇、最高でした。



山下 登志子